

第 1 回・1F 廃炉の先研究会 開催記録

日時：2019 年 7 月 29 日（月）18:00-20:30

会場：早稲田大学 19 号館 713 会議室（7 階）

出席者：研究会代表

松岡俊二：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授（環境経済・政策学）

研究会副代表

森口祐一：東京大学大学院工学系研究科教授（環境システム工学）

研究会メンバー

小林正明：東京大学大学院法学政治学研究科客員教授

井上 正：一般財団法人 電力中央研究所・名誉研究アドバイザー

崎田裕子：NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長、ジャーナリスト

吉田恵美子：NPO 法人ザ・ピープル理事長、いわきおてんと SUN 企業組合理事長

菅波香織：弁護士

船曳 淳：三菱総合研究所原子力安全事業本部主席研究員

安部 良：安部良アトリエ一級建築士事務所、明治大学理工学部建築学科兼任講師

勝田正文：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授（機械工学）

師岡慎一：早稲田大学大学院先進理工学研究科特任教授（原子力工学）

黒川哲志：早稲田大学社会科学総合学術院教授（行政法）

小野田弘士：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授（環境工学）

永井祐二：早稲田大学環境総合研究センター研究院准教授（環境工学）

オブザーバー参加者(10 名)

事務局

CHOI Yunhee：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程 3 年

山田美香：早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・博士課程 3 年

議題

0. 自己紹介：議題に入る前に、初会合であることから出席者が自己紹介を行う。

1. 研究会の目的・性格・構成について：研究代表より説明を行い、確認をした。

- ・ 研究会は、1F 廃炉の先の姿（end state, end point）や形を多様な社会的観点から検討する。
- ・ 研究会は、自主的で独立した任意の研究団体であるが、早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター（略称：ふくしま広野 RC）と協働する。
- ・ 研究会の構成は、専門分野などに配慮しつつ 15 名程度で構成する。必要に応じて、オブザーバーとしてリソースパーソンを招聘する。

2. 研究会のアウトプットについて

- ・ 来年の夏ごろを目処とし、1F 廃炉の先の姿や形を多様な社会的観点から検討し、その結果を報告書あるいは提案（あるいは提言）としてまとめ、発信する予定である。

3. 研究会の開催形態(日程、情報公開、事務局など)について

- ・ 今後の予定については、来年の夏ごろまで 2 ヶ月に 1 回程度の頻度で 6 回程度、研究会を開催する。

第 2 回：2019 年 10 月 11 日(金)18:00-20:30（早稲田大学 19 号館 7 階 713 会議室）

宮野廣先生（法政大学）「日本原子力学会・廃炉検討委員会の議論の状況について：特に end state をめぐって」

第 3 回：2019 年 12 月（12/10（火）、12/19（木）、12/20（金））

＊第5回ふくしま学（楽）会@福島県：2020年1月26日（日）

第4回：2020年2月（2/10（月）、2/14（金）、2/17（月）、2/20（木）、2/21（金））

＊第9回原子力政策・福島復興シンポジウム@早稲田大学：2020年3月7日（土）

第5回：2020年4月 or 5月

第6回：2020年6月 or 7月（最終回予定）

- ・ 研究会の事務局は早稲田大学ふくしま広野 RC 事務局が担う。

4. 1F の現状と今後の廃炉作業（中長期ロードマップ）について

- ・ 経済産業省「廃炉の大切な話 2019」を用いて、説明を行う。
- ・ 9月28・29日に福島大学で開催される、環境経済政策学会・福島復興知企画セッションについて報告する。

5. 日本原子力学会・廃炉検討委員会について：動向について研究代表者より紹介をする。

6. 1F 事故の記憶の継承について

- ・ CHOI Yunhee より「原子力施設をめぐる文化遺産に関する議論：海外議論の動向と英国の事例」の報告を行う。

7. フリーディスカッション